

代表者名	山本 貢	所管部課名	産業経済労働部労働政策課
所在地	大館市字中城20番地	設立年月日	平成7年2月16日

【沿革、及び、県の出捐理由】

大館矢立ハイツは、雇用促進事業団が昭和55年に建設し、県が受託してきたが、平成7年に県から大館市へ再委託している。
市では受託にあたり、新たに財団法人を設立し、当該財団へ再委託しているが、財団法人の設立にあたり、公益的要素が高いことから県・市が出捐している。

【出捐者】(13年度末) (百万円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	10	33.3
市町村	1	20	66.7
その他			
計	2	30	100.0

【事業】

主たる業務

大館矢立ハイツの管理運営の受託
大館地域職業訓練センターの管理運営の受託
大館勤労者総合福祉センターの管理運営の受託

事業実績 (人)

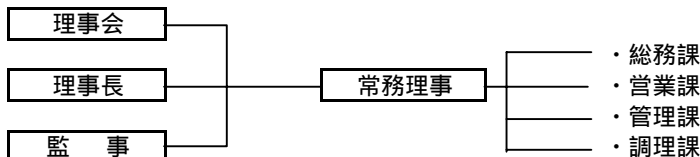
事業名等	11年度	12年度	13年度
宿泊者数	8,608	7,965	10,496
休憩等利用者数	129,900	118,468	114,790

13年度事業概要、及び、14年度事業計画・目標

13年度概要～12年度実施の宿泊棟、本館棟改修効果により、宿泊・宴会利用者の増が図られた。
14年度計画・目標
宿泊宴会(10,500人) 日帰り宴会(10,200人) その他休憩等利用者(120,000人)

【組織】

運営機構



役員数 (人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県OB				
非常勤		12		2
内、県OB				
内、県職員		0		
計		12		2
内、県関係者		0		

職員数 (人)

正職員	22	正職員 平均年齢	38.7歳
内、県OB			
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	3	正職員 平均勤続年数	6.3年
内、県OB			
計	25		
内、県関係者			

【財務】

損益状況(13年度) (百万円)

	金額
経常収入 A	277
受託事業収入	39
補助金収入	5
自主事業収入	230
運用益収入	
その他	3
経常支出 B	277
人件費	112
その他	195
経常損益 C = A - B	0
経常外収入	
経常外支出	
当期損益	0

財務状況(13年度末) (百万円、%)

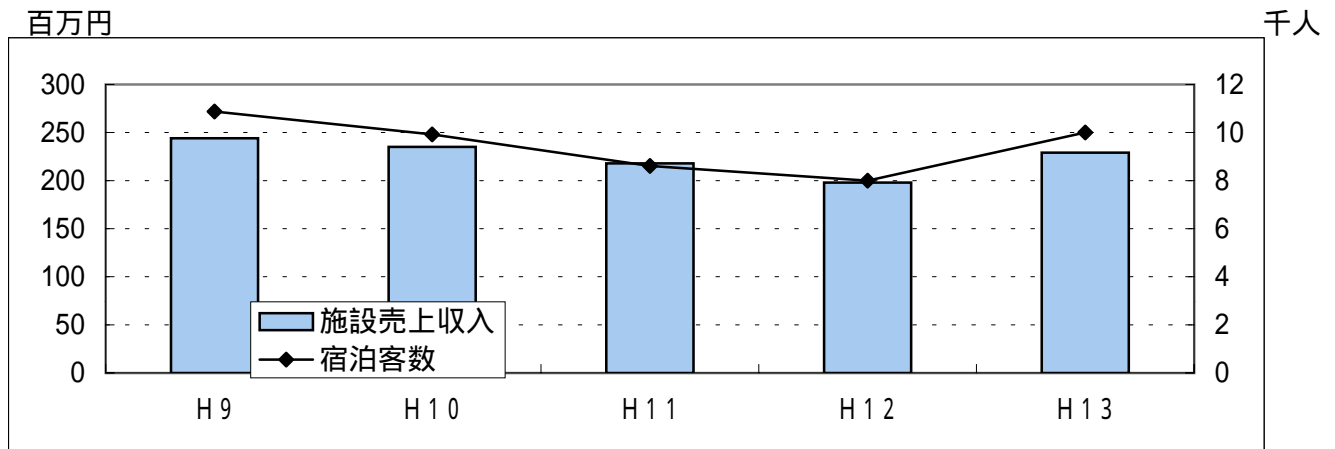
	金額	構成比
流動資産	27	38.6
固定資産	43	61.4
資産計	70	100.0
流動負債	18	25.7
短期借入金		
固定負債	15	21.4
長期借入金	15	21.4
引当金等		
負債計	33	47.1
基本金	30	42.9
剰余金	7	10.0
資本計	37	52.9
負債・資本計	70	100.0

【県の財政支出】

(千円)

	11年度	12年度	13年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

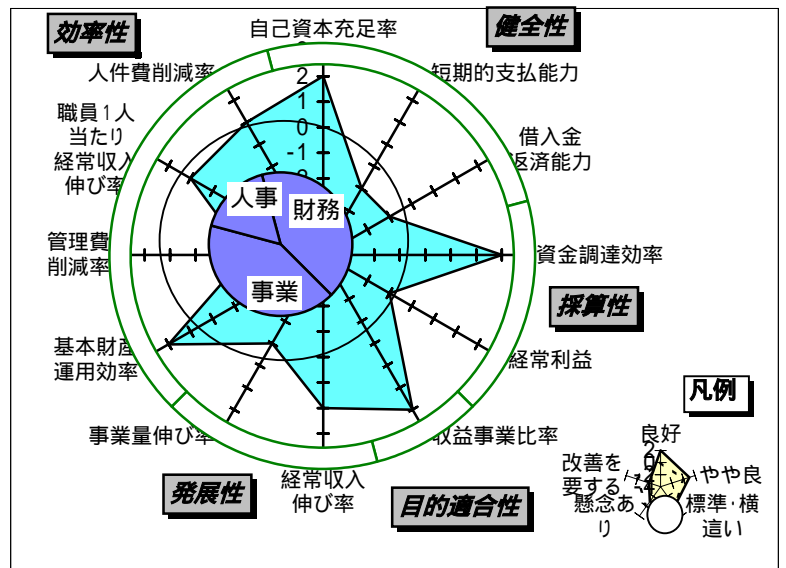
【事業等の推移】(過去5年度)



【諸比率等】(13年度)

自己資本比率	52.32 %
流動比率	147.65 %
借入金返済年数	- 年
支払利息比率	- %
経常利益率	-0.08 %
収益事業比率	0.00 %
経常収入額	277,133 千円
事業量(年間利用者数)	125,286 人
基本財産運用効率	0.15 %
管理費比率	14.43 %
職員1人当り経常収入額	11,085 千円
人件費比率	40.38 %

【各評価項目レーダーチャート】



【経営概況、経営上の課題・問題点等】

平成11年度、12年度と改修工事により、宿泊事業の全部及び宴会事業の一部休業により収入が大きく減少してきたが、13年度はリニューアル効果もあり、宿泊・宴会客は増加した。引き続きリニューアル効果を最大限発揮し、誘客促進を図る必要がある。
 また、平成16年度末の雇用能力開発機構からの譲渡を見据え、引き続き経営改善に努め、自立経営に向け、恒常的黒字基調を維持するとともに、借入金の着実な返済に努める。

【経営評価】

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
施設譲渡後の経営も視野に、一層の経営改善に努める必要がある。	